

事務事業名 海水浴場維持管理安全対策事業

政策:03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

施策:03 観光の振興

基本事業:03 海岸の整備

部名:経済環境部

課名:商工観光課

計画年度	年度	～	年度	事業区分	継続	会計区分	普通会計				
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
海水浴場施設・海水浴客				来遊する海水浴客の安全対策、海水浴場の海開き期間の駐車場の管理業務、海水浴場の施設管理業務を実施 ・海水浴場数：6カ所 ・海開き期間：7月中旬から8月下旬 ・監視所数：6カ所 ・駐車場箇所：6カ所（内有料駐車場1カ所） ・安全対策： ライフセーバーによる海水浴場監視委託（随意契約） 監視所等借上げ（入札） 駐車場管理業務委託（入札） 海岸安全対策設備工事（入札） 海岸監視用備品購入（随意契約）							
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）											
海水浴客に安全で使いやすく、施設の利便性の高い海水浴場にしている。											
4 活動指標・成果指標・事業費の推移											
区分	指標名称			単位	20年度実績	21年度実績	22年度当初	25年度目標値			
活動指標	委託業務数			社	3	3	3	-			
活動指標	海水浴場開設日数			日	37	37	37	-			
成果指標	水難事故件数			件	1	0	0	-			
成果指標	苦情件数			件	2	2	0	-			
事業費				千円	37,352	37,172	37,667				
				うち一般財源	千円	26,362	28,065	33,023			
5 目的妥当性											
○ 法定受託事業である（根拠法令→） ● 妥当である ○ 妥当性が低い				観光入込み客誘客手段の一つとして、市の関与は妥当です。							
6 上位の基本事業への貢献度											
○ 貢献度大きい（理由→） ● 貢献度ふつう（理由→） ○ 貢献度小さい（理由→） ○ 基礎的事務事業				安全対策や日常管理をすることで来遊者が快適に過ごせるようになります。							
7 対象や意図の妥当性、費用対効果の検討											
○ 対象や意図を見直し、費用対効果を上げることができる ● 対象や意図の見直しはできない ○ その他				なし							
8 有効性（成果状況）											
○ あがっている ● どちらかといえばあがっている ○ あがっていない				海水浴場については、安全第一で開設しており、来遊客向上に一役買っている。							
9 有効性（成果向上余地）											
○ 成果向上余地・大 ○ 成果向上余地・中 ● 成果向上余地・小・無し											
10 事業の再編成											
○ 類似の事業があり、再編成できる ○ 類似の事業はあるが、再編成できない ● 類似の事業はない				なし							
11 効率性（コスト削減の方法）											
○ ある ● ない				安全の確保や利用実態から削減は困難 （監視業務については、千葉県海水浴場等安全指導要綱に基づき、各海水浴場には、水難救助の有資格者を1名以上置かなければならない。）							